



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月28日

上場会社名 株式会社寺岡製作所 上場取引所 東
 コード番号 4987 URL https://www.teraokatape.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 辻 賢一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 石崎 修久 (TEL) 03-3491-1141
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---------------|--------|-------|------|---|------|---|------------------|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期第3四半期 | 16,583 | 7.5 | 15 | — | 215 | — | 48 | — |
| 2021年3月期第3四半期 | 15,430 | △10.1 | △226 | — | △265 | — | △268 | — |

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 89百万円(—%) 2021年3月期第3四半期 △213百万円(—%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|---------------|-----------------|----------------------------|
| 2022年3月期第3四半期 | 円 銭 1.91 | 円 銭 — |
| 2021年3月期第3四半期 | △10.60 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---------------|---------------|---------------|-----------|
| 2022年3月期第3四半期 | 百万円 36,892 | 百万円 28,781 | % 78.0 |
| 2021年3月期 | 37,033 | 29,046 | 78.4 |

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 28,781百万円 2021年3月期 29,046百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|--------------|----------|-------------|----------|-------------|--------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| 2021年3月期 | 円 銭 — | 円 銭 3.00 | 円 銭 — | 円 銭 9.00 | 円 銭 12.00 |
| 2022年3月期 | — | 5.00 | — | — | — |
| 2022年3月期(予想) | — | — | — | 5.00 | 10.00 |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2021年3月期末配当金の内訳 普通配当5円00銭 創業100周年記念配当 4円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日～2022年3月31日)

(％表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり 当期純利益 |
|----|--------|-----|------|-------|------|------|-----------------|-------|----------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 23,000 | 6.2 | 470 | 264.6 | 480 | 95.3 | 370 | 306.6 | 14.60 |

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

添付資料 8 ページ「(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

| | | | | |
|----------------------|------------|-------------|------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む) | 2022年3月期3Q | 26,687,955株 | 2021年3月期 | 26,687,955株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期3Q | 1,355,877株 | 2021年3月期 | 1,355,435株 |
| ③ 期中平均株式数 (四半期累計) | 2022年3月期3Q | 25,332,314株 | 2021年3月期3Q | 25,332,645株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

・この四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 3 ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 3 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 3 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 4 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 4 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 6 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 8 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 8 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 8 |
| (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) | 8 |
| (会計方針の変更) | 8 |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の普及等による感染者数減少を受け、緩やかな回復の兆しが見られましたが、新たな変異株の出現などにより、一進一退の状態が続いております。一方、世界経済に目を移すと、半導体等部材不足や資源価格上昇、厳しい行動制限や電力供給統制を背景とした中国経済の減速懸念など、不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、当社グループにおいては、概ね計画通りの売上高となりましたが、利益面においては、計画を大幅に下回りました。主な要因は、中国での販売不振等で発生した長期在庫に対し、当社グループの規程に則して一時的に評価減を行ったことによるものです。

その結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は165億83百万円（前年同期比7.5%増）となりました。営業利益は15百万円（前年同期は2億26百万円の営業損失）、経常利益は2億15百万円（前年同期は2億65百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益は48百万円（前年同期は2億68百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

当社グループは、粘着テープの製造・販売を行っておりますが、製品部門別の売上高状況は以下の通りです。

(梱包・包装用)

巣ごもり需要の一巡によりホームセンター向け需要は低調に推移しましたが、輸出取引が復調したため、当製品部門の売上高は21億60百万円（前年同期比0.4%増）となりました。

(電機・電子用)

半導体不足の影響によりモバイル機器用テープが低調に推移しましたが、電子部品用テープの需要が堅調に推移し、また車載用テープの需要が回復したため、当製品部門の売上高は90億65百万円（前年同期比12.1%増）となりました。

(産業用)

インフラ・建築関連で主力のポリエチレンクロステープは低調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言の解除に伴いイベント・販促用テープ需要が回復したため、当製品部門の売上高は53億57百万円（前年同期比3.1%増）となりました。

(ご参考) 販売実績

(単位：百万円)

| 粘着テープ事業 製品部門別 | 前第3四半期連結累計期間 2020年4月1日から 2020年12月31日まで | | 当第3四半期連結累計期間 2021年4月1日から 2021年12月31日まで | | 前年同期比 | |
|------------------|--|--------|--|--------|-------|--------|
| | 金額 | 構成比 | 金額 | 構成比 | 増減金額 | 増減率 |
| 梱包・包装用 | (64) 2,152 | 13.9% | (196) 2,160 | 13.0% | 8 | 0.4%増 |
| 電機・電子用 | (3,846) 8,084 | 52.4% | (4,295) 9,065 | 54.7% | 980 | 12.1%増 |
| 産業用 | (144) 5,194 | 33.7% | (193) 5,357 | 32.3% | 163 | 3.1%増 |
| 合計 | (4,055) 15,430 | 100.0% | (4,685) 16,583 | 100.0% | 1,152 | 7.5%増 |

(注) ()内の数字は海外売上高

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期末の総資産は、前期末と比べ0.4%減少し368億92百万円となりました。

流動資産は、前期末と比べ10.3%減少し181億90百万円となりました。これは、主として設備投資に伴う現金及び預金の減少によるものです。

固定資産は、前期末と比べ11.6%増加し187億1百万円となりました。これは、主として有形固定資産の増加によるものです。

当第3四半期末の負債合計は、前期末と比べ1.6%増加し81億10百万円となりました。

流動負債は、前期末と比べ2.7%増加し65億50百万円となりました。これは、主として短期借入金の増加によるものです。

固定負債は、前期末と比べ2.8%減少し15億60百万円となりました。これは、主として環境対策引当金の減少によるものです。

当第3四半期末の純資産合計は、前期末と比べ0.9%減少し287億81百万円となりました。これは、主として配当による利益剰余金の減少によるものです。

以上の結果、自己資本比率は78.0%（前期末78.4%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期の業績予想につきましては、長期在庫の解消と電機・電子用テープの需要増を見込んでいることから、2021年5月10日に公表いたしました業績予想に変更はございません。業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の数値は今後様々な要因により、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 8,466 | 5,058 |
| 受取手形及び売掛金 | 5,891 | 5,773 |
| 電子記録債権 | 1,165 | 1,666 |
| 商品及び製品 | 2,361 | 2,548 |
| 仕掛品 | 1,076 | 1,262 |
| 原材料及び貯蔵品 | 844 | 1,136 |
| その他 | 484 | 754 |
| 貸倒引当金 | △8 | △8 |
| 流動資産合計 | 20,281 | 18,190 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 12,236 | 13,488 |
| 減価償却累計額 | △8,736 | △8,968 |
| 建物及び構築物(純額) | 3,500 | 4,519 |
| 機械装置及び運搬具 | 20,448 | 22,625 |
| 減価償却累計額 | △18,099 | △18,394 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 2,348 | 4,231 |
| 土地 | 4,039 | 4,053 |
| リース資産 | 269 | 269 |
| 減価償却累計額 | △76 | △89 |
| リース資産(純額) | 193 | 179 |
| 建設仮勘定 | 1,996 | 892 |
| その他 | 2,345 | 2,295 |
| 減価償却累計額 | △1,894 | △1,845 |
| その他(純額) | 450 | 450 |
| 有形固定資産合計 | 12,528 | 14,326 |
| 無形固定資産 | 113 | 406 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 2,956 | 2,891 |
| 繰延税金資産 | 18 | — |
| 退職給付に係る資産 | 939 | 932 |
| その他 | 194 | 144 |
| 投資その他の資産合計 | 4,109 | 3,967 |
| 固定資産合計 | 16,751 | 18,701 |
| 資産合計 | 37,033 | 36,892 |

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 1,426 | 1,458 |
| 電子記録債務 | 2,319 | 2,297 |
| 短期借入金 | 120 | 207 |
| リース債務 | 19 | 19 |
| 未払法人税等 | 92 | 119 |
| 未払費用 | 556 | 421 |
| その他 | 1,846 | 2,026 |
| 流動負債合計 | 6,381 | 6,550 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 179 | 282 |
| リース債務 | 190 | 176 |
| 繰延税金負債 | 464 | 397 |
| 環境対策引当金 | 74 | — |
| 退職給付に係る負債 | 75 | 79 |
| 資産除去債務 | 504 | 504 |
| 長期未払金 | 56 | 56 |
| その他 | 59 | 63 |
| 固定負債合計 | 1,605 | 1,560 |
| 負債合計 | 7,986 | 8,110 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,057 | 5,057 |
| 資本剰余金 | 4,643 | 4,643 |
| 利益剰余金 | 17,824 | 17,517 |
| 自己株式 | △462 | △462 |
| 株主資本合計 | 27,062 | 26,755 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 1,140 | 1,101 |
| 為替換算調整勘定 | 262 | 431 |
| 退職給付に係る調整累計額 | 581 | 492 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,983 | 2,025 |
| 純資産合計 | 29,046 | 28,781 |
| 負債純資産合計 | 37,033 | 36,892 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年12月31日) |
|---------------------------------------|--|--|
| 売上高 | 15,430 | 16,583 |
| 売上原価 | 12,087 | 13,024 |
| 売上総利益 | 3,343 | 3,559 |
| 販売費及び一般管理費 | 3,569 | 3,543 |
| 営業利益又は営業損失(△) | △226 | 15 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 8 | 2 |
| 受取配当金 | 76 | 67 |
| 為替差益 | — | 93 |
| その他 | 43 | 68 |
| 営業外収益合計 | 128 | 233 |
| 営業外費用 | | |
| 為替差損 | 157 | — |
| 事務所移転費用 | — | 10 |
| 新型コロナウイルス感染症対応費用 | 5 | 9 |
| その他 | 4 | 13 |
| 営業外費用合計 | 167 | 32 |
| 経常利益又は経常損失(△) | △265 | 215 |
| 特別利益 | | |
| 投資有価証券売却益 | 117 | 3 |
| 特別利益合計 | 117 | 3 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 140 | — |
| 特別損失合計 | 140 | — |
| 税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△) | △288 | 219 |
| 法人税等 | △20 | 171 |
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △268 | 48 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | — | — |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△) | △268 | 48 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日) |
|-------------------|--|--|
| 四半期純利益又は四半期純損失(△) | △268 | 48 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 152 | △39 |
| 為替換算調整勘定 | △135 | 169 |
| 退職給付に係る調整額 | 37 | △88 |
| その他の包括利益合計 | 54 | 41 |
| 四半期包括利益 | △213 | 89 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | △213 | 89 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | — | — |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、見積実効税率を使用できない場合は法定実効税率を使用しております。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取れると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、売上りべートについて、従来は、販売費及び一般管理費として処理しておりましたが、取引の対価の変動部分の額を見積り、認識した収益の著しい減額が発生しない可能性が高い部分に限り取引価格に含める方法に変更しております。また、有償支給取引について、従来は、有償支給した支給品について消滅を認識しておりましたが、支給品を買い戻す義務を負っている場合、当該支給品の消滅を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、利益剰余金期首残高へ与える影響はありません。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は59百万円減少しますが、売上高の減少額と同額の販売費及び一般管理費が減少するため、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響はありません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。